

日交研シリーズ A-589
平成 24 年度研究プロジェクト
「地域・都市の総合交通政策プロジェクト」
刊行：2013 年 12 月

地域・都市の総合交通政策—地域・都市構造／社会経済構造の変化と
交通体系の整備・運営の研究

Integrated Transport Policy for Urban Areas
with reference to regional and socio-economic structural changes

主査：石田信博（同志社大学教授）
Nobuhiro ISHIDA
松澤俊雄（大阪市立大学名誉教授）
Toshio MATSUZAWA

要 旨

本研究グループではこれまで地域・都市圏構造の分析と、交通・運輸部門におけるインフラ整備や制度・運営上の影響の分析を通じて、地域・都市交通における総合的交通政策の方向性についての研究を進めることで成果を発表してきた。今年度は地域圏・都市圏の道路交通利用を中心としたテーマでの 3 本の論文をもって報告書とする。

第 1 論文では、自動車の普及や道路整備が極めて進んだマレーシアにおける都市交通政策について考察する。燃料への補助金増や道路混雑問題から、政府は近年都市公共交通の拡充に力を入れているが、そのクオリティ・運営には多くの課題がある。本稿では首都圏の路線バスを中心とした公共交通運営の状況とその問題、政策動向について論じる。第 2 論文では、英国・日本・(米国) のバス事業について、近年の動向ならびに政策上の課題について考察する。(都市圏) 域内バス事業の退潮的傾向のなか、貸切や高速バス事業部門は成長している。域内バスの規制緩和後、英国では運営上のネットワーク喪失が退潮に拍車を掛けた地域も多く、公民連携 (QP) による回復も図られている。わが国では規制緩和後大きな変化は見られないが、大都市に対して地方都市では利用上鉄道とバスに代替的關係が見られる。

工業化が進み経済が急成長している東南アジアの国々での工業化の状況・進行上のペースは、国や地域により異なるが、第 3 論文では、その発展過程における物流システムの果たす役割について考察する。経済成長の著しいタイ・インドネシアをはじめ、東南アジアの代表的な国々における物流システム (特に物流インフラ) について、その現状と問題点を工業化との関係から考察する。

(キーワード) : 都市交通政策、マレーシアの首都圏交通、規制改革、QP、東南アジア、物流インフラ ; Public Transport Policy, Transport System in Malaysian Capital Region, Regulatory Reform, Quality Partnership, Southeast Asia, Infrastructure for Physical Distribution